

ノロウイルス(代替ウイルスでの) 不活化試験結果の概要

*** 不活化とは、ウイルスが死滅することです。***

- [試験機関] (株)食環境衛生研究所
- [試験資材] オキシリンク-S P (1,000・5,000・10,000倍希釈)
 ≡ オキシリンクSPスプレー 換算濃度：(60%・12%・6%)
- [試験対象] ネコカリシウイルス(ノロウイルス代替)：32,000株(株=個数)
 国が定める代替ウイルス(ネコカリシウイルス)にて不活化試験を実施
- [試験内容] 試験資材が試験対象に及ぼす不活化効果の検証(計測：開始後1分)
 試験①：1,000倍希釈、試験②：5,000倍希釈、試験③：10,000倍希釈
- [試験開始] 2013.02.04
- [試験終了] 2013.06.20(試験機関による報告書作成日)
 *** 菌やウイルスの死滅表現：菌 → “死滅”、ウイルス → “不活化” ***

【試験①】右グラフ図

≡ オキシリンクSPスプレー：60%濃度
 この濃度で 不活化率 99.90%以上

【試験②】下段左グラフ図

≡ オキシリンクSPスプレー：12%濃度
 この濃度で 不活化率 99.00%

【試験③】下段右グラフ図

≡ オキシリンクSPスプレー：6%濃度
 この濃度で 不活化率 98.44%

[所見] オキシリンクSPスプレーは本来は薄めずに(100%のまま)使用するものですが、上記何れの濃度に薄めても、厄介なノロウイルスに効果を示します。

